	平成 25 年 10 月 1 日 (2013 年)
吹田市長	カて 住所 東京都港区芝2-14-5 ※注1 事業所 任務 大名 大りックス不動産株式会社 代表取締役社長 山谷 佳之 電話 (06) 6578 - 1819
事業の名称	(仮称)グッドタイム リビンング 千里丘 新築工事
対象事業区域	吹田市 長野東71番6、千里丘西353番34、354番1
※注1	住 所 大阪市中央区道修町1-4-6/大阪市中央区内平野町1-3-12天満橋リーフビル5F
設計・代理者	株式会社 内藤建築事務所 大阪事務所 / 株式会社 TOKI 設計 氏 名 (設計者) / (代理者)鳴戸 雄一
	電 話 (06) — (担当者:)
※注1	住 所 未定
工事施工者	氏 名
	電話() 一
 事業予定期間	平成 25 年 (2013 年) 11 月 15 日 から
7 X 7 X M III	平成 26 年 (2014 年) 9 月 30 日 まで
	計画部分 既存部分 合 計
	対象事業面積 4,733.56 ㎡ 4,733.56 ㎡
	建築面積 1,703.25 m n 1,703.25 m
事業の規模	延 べ 面 積 6,793.32 m m 6,793.32 m
	最高の高さ 20.60 m m
	RC 造・一部 造 構 造 ・ 階 数
	地上 6 階・地下 階
	区分 ☑ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 新設 □ 増設
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業
	│ □ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的:) │ │ ☑ 建築物の新築又は増改築の事業
 事業の目的・内容	☑ 建築物の新築又は増改築の事業 ´ □ エ 場・事 業 場 □ 住 宅・共 同 住 宅(戸)
サネの日的・内谷	
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 受 付
	□ その他 ()
 環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる
	・ガイドライン取組事項チェックリスト
┃ ┃ 添 付 書 類	・工事関連車輌通行ルート図
	・その他必要と認める図書第一の場合は、第二の書は、第二の場合は、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二の

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

オリックス不動産は、環境性能の高いオフィスビルや住まいなど、環境に配慮した不動産開発を行っ ています。また、ホテルやゴルフ場などの運営施設における環境負荷低減の取り組みも積極的に推 進しています。

当該事業における 環境まちづくり方針

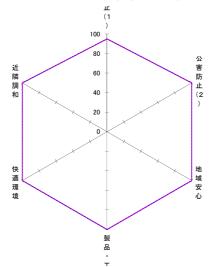
敷地内緑化及び歩道沿い緑化に配慮したうえ、外観についても周辺環境になじむ色彩に努めます。

- 1. 実施率と主な実施内容
- 1-1. 工事中

パーセント 実施率 98 (小数点第2位以下切り捨て) 実施する・一部実施するの項目数 該当なしを除いた項目数

51

---:方針(案), —:方針



	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方針	19	14	5	3	4	5
針	20	14	5	3	4	5
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
方() 針()	19	15	4	3	4	5
針。	20	15	4	3	4	5
		,		,		

主な実施内容

- ・建設機械類は定期的に整備点検を行います。
- ・土砂の積み降ろしの際には騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮します。
- ・建設資材の落下防止対策を講じます。
- ・掘削作業などの際には、散水を行うよう努めます。
- ・塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗装缶は適正な管理を行います。 ・現地での廃棄物などの焼却は行いません。
- ・工事現場周辺の交通安全に配慮いたします。
- ・工事現場内外を問わずポイ捨てを防止し、工事現場周辺の美化に努めます

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 94.5 パーセント

実施する・一部実施するの項目数

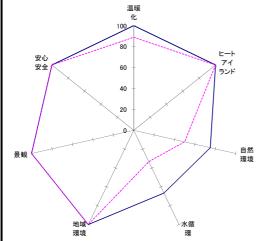
35

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

37

---:方針(案), —:方針



	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方	9	1	3	2	12	6	2
針	9	1	4	3	12	6	2
		'					'

	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方 針	8	1	2	1	12	4	2
案	9	1	4	3	12	4	2

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 31.5 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

-般照明の一部をLED照明とすることでCO2を削減します。

(2)緑地面積

緑化率

26.8 %

条例基準分

25.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

2階屋上にコンテナによる緑化を行います。(7.6㎡)

(3)雨水利用

雨水貯留量

0.0 t

うち雨水利用量

0.0 t

利用目的

【□植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

- (4)上記以外の主な実施内容
 - ・自動水栓の採用。
 - 節水型水栓の採用。
 - •潜熱回収型給湯器の採用。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針(案)からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
5-6	一部実施する	実施する
11	実施する	一部実施する
13	一部実施する	実施する
24	一部実施する	実施する
36	実施する	該当なし
38	一部実施する	実施する
42	該当なし	実施する
45-46	実施する	実施する
52	実施する	一部実施する
56	一部実施する	実施する
58	実施しない	実施する
62	一部実施する	実施する
66	実施しない	該当なし
72	該当なし	一部実施する
75	実施しない	実施する
81-82	実施する	一部実施する
84	一部実施する	実施する
92-93	該当なし	実施する

. ()	1ン記載の取組争項以	パー大心する味况の	つ ノイグの収組を配象	X\/_CU-6/	

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン 取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 内 容 実 施 の 有 無 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しい及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚 建設棚	5染や騒音などの公害の防止します。 ^{銭械}	
1	低公害型建設機械の使用	□ 実施する □ 一部実施する 低排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機械を使用します。 □ 実施しない □ 該当なし
2	低燃費型建設機械の使用	実施する □ 一部実施する 機器価格が高額であり、リース市場においても普及していないため 用しません。
3	アイドリングの禁止	☑ 実施する □ 一部実施する 排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしません。 □ 実施しない □ 該当なし
4	環境に配慮した運転	☑ 実施する □ 一部実施する 空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行います。 □ 実施しない □ 該当なし
5	稼動台数の抑制	図 実施する □ 一部実施する □ 本事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しま □ 実施しない □ 該当なし
6	工事の平準化	▼ 実施する □ 一部実施する □ 一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図ります。 □ 実施しない □ 該当なし
7	機械類の整備点検	▽ 実施する □ 一部実施する 機械類は適切に整備点検を行います。 □ 実施しない □ 該当なし
工事	関連車両	
8	低公害車の使用	□ 実施する ☑ 一部実施する 燃費や排出ガス性能のよい車両を使用します。 □ 実施しない □ 該当なし
9	大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし
10	工事関連車両の表示	☑ 実施する □ 一部実施する □ 本事関連車両であることを車両に表示します。 □ 実施しない □ 該当なし
11	周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設 定	□ 実施する ☑ 一部実施する 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を選て設定します。
12	建設資材の搬出入における車両台数の抑制	▽ 実施する □ 一部実施する 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車数を抑制します。
13	工事関連車両台数の抑制	☑ 実施する □ 一部実施する 作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制します。
14	土砂の積み降ろし時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土を飛散防止に配慮します。
15	タイヤ洗浄	図 実施する □ 一部実施する

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮		コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮します。
17	場外待機の禁止	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させません。
18	クラクションの使用抑制	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にします。
19	アイドリングの禁止	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。
20	環境に配慮した運転	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行います。
工事方 騒音・	法 振動等		
	防音シートなどの設置		仮囲いを設置する。激しい音の出る作業については防音シートを使用 します。
22	丁寧な作業	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行います。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	▽ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用します。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。
粉じん	・・アスベスト		
25	解体、掘削作業の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	掘削作業などの際には、散水を十分に行います。
26	飛散防止対策		土砂などの堆積場で、砂じんが飛散するおそれがある場合は、飛散防 止対策をします。
27	アスベストの調査など	□ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物はありません。
28	アスベストの飛散防止措置	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物はありません。
水質	F濁・土壌汚染・地盤沈下 		
29	濁水や土砂の流出防止	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止します。
30	塗料などの適正管理及び処分		塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分します。
31	土壌汚染物資の拡散防止措置	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	土地の履歴調査等により土壌汚染の問題はありません。

	取 組 事 項	実施の有無	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮		セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム 溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工します。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	▽ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。
悪臭・	廃棄物		
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気 対策を行います。
35	現地焼却の禁止解体時の環境汚染対策	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いません。
36	解体時の環境汚染対策	□ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物はありません。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策地域との連携に おける事故の防止	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮な どにより臭気対策を行います。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	地域との連携における事故の防止	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数 の警備員を配置し事故防止に努めます。
39	児童などへの交通安全の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に 配慮します。
40	夜間や休日の防犯対策		夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入口を施錠するなどの対策を講じます。
41	児童などへの見守り、声かけ	□ 実施しない □ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。
42	地域の防犯活動への参加		近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動の依頼があれば検討しま す。
環境に	こ配慮した製品及び工法を採用します。		
省エオ	ベルギー 「		
43	エネルギー消費の抑制	□ 実施する ☑ 一部実施する	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制します。
省資	京 「	T	
44	残土発生の抑制		建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。
45	廃棄物の減量	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量します。
	·環境づくりに貢献します。		
景観 46	仮囲い設置時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 します。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレ設置時の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫します。
周辺の	L D環境美化		
48	周辺道路の清掃	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	エ事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行います。
49	場内整理	□ 実施しない □ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行います。
ヒート	アイランド現象の緩和		,
50	打ち水	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	現場に水道水以外の用水がありません。
地域と	この調和を図ります。		,
工事記	说明·苦情対応		
51	工事内容の事前説明及び周知	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また 工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにし ます。
52	苦情対応	□ 実施しない □ 該当なし	窓口は設置しないものの対応連絡先を掲示し対応します。
周辺の	D教育・医療・福祉施設への配慮		
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	南山田小学校、山田中学校などに対して工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にします。
54	騒音、振動などの配慮	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	南山田小学校などに対して騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をします。
周辺の	の事業者との調整		
55	複合的な環境影響の抑制	□ 実施しない □ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の 通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域にお ける大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者など と連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を 事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用		大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう 努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度によ り広告物などに表示します。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用		昼間も常時点灯となる共用部照明器具はできるだけ「高効率・長寿命型蛍光灯」や「LED照明」を採用します。エレベーターはインバーター制御とします。
58	再生可能エネルギーの活用	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	太陽光発電設備(3kw)を設置します。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入 の検討	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	ヒートポンプシステム(空調)を導入します。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止		高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設計に配慮します。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制		採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させることで、建築物のエネル ギー負荷を抑制します。
62	長寿命な建築物の施工	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工します。(1等級) (鉄筋コンクリート造)
63	環境に配慮した製品の採用		リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を 積極的に採用します。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の 採用		製造に要するエネルギーが少ない建設資材などを積極的に採用しま す。
ヒート	アイランド対策を行います。		
65	ヒートアイランド対策	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	建物の屋根面等に高反射率塗料の塗布を実施し、積極的にヒートアイ ランド対策を行います。
自然環			
66	動植物の生息や生育への配慮	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	事業地とその周辺は既成の住宅地であるため該当しません。
67	地域のシンボルツリーの保全		事業地内に地域のシンボルとなる樹木はないので該当しません。
68	既存の植生の保全	□ 実施しない ☑ 該当なし	事業地内には移植可能な樹木がないため該当しません。
69	生物の生息空間の保全	□ 実施しない ☑ 該当なし	周辺には自然のまとまった緑地がないので該当しません。
70	駐車場緑化		管理上、及び事業採算上困難なため採用しません。

	取組事項	実 施 の 有 無 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施 い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	施しな
71	屋上緑化など	□ 実施する ☑ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	
72	法面緑化	□ 実施する ☑ 一部実施する 法面に対して緑化を行います。 □ 実施しない □ 該当なし	
73	植栽樹種の選定	□ 実施する ☑ 一部実施する 植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定します。 □ 実施しない □ 該当なし	
水循環	とを確保します。		
74	水資源の有効利用	□ 実施する □ 一部実施する □ 雨水利用施設は維持管理上困難であるので採用しません。 □ 実施しない □ 該当なし	
75	雨水流出を抑制する施設の設置	☑ 実施する □ 一部実施する 地域での雨水抑制施設があるためそれを利用します。 □ 実施しない □ 該当なし	
76	雨水浸透への配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する オープンスペース、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、のある舗装などの採用を検討します。	浸透性
)生活環境を保全します。		
大気・	騒音・振動等		
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する 空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、低騒ぎ器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、振動対策を行います。	
78	防音サッシの設置	□ 実施する ☑ 一部実施する■ 国际	
79	駐車場の配置計画時の配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する 周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車 置は住居に隣接しない計画とします。	場の配
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	▽ 実施する □ 一部実施する近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口物置場の位置などに配慮します。	、廃棄
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	□ 実施する ☑ 一部実施する ボイラー、タービン、エンジンなどの機器を設置する場合は、万田 はガス対策を行います。	全の排
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する 屋外照明や広告照明については、近隣住民に対する光の影響します。	を抑制
83	建築資材による光の影響の考慮	実施する ☑ 一部実施する建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による太陽の反射光にない実施しない □ 該当なし	ついて
84	環境に配慮した塗料の使用	実施する □ 一部実施する	いもの
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮		

取 組 事 項			実 施	Ø	有	無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)							
86	日照障害対策		実施する			部実施する 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象地域についての日 影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。また、できる限り軽減を図りました。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明		実施する			部実施する	電波障害の発生が想定される範囲を、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88	電波障害発生時の改善対策	Ø C	実施する			部実施する 該当なし	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信施設などによる改善対策 を行います。
89	プライバシーの配慮		実施する			部実施する	近隣住民のプライバシーを侵害するおそれがある場合は、適切な対策 を講じるよう努めます。
90	地域への調和		実施する			部実施する 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう色彩や形状に配慮します。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた 計画及び設計		実施する			部実施する 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、 「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づき、色彩など配慮した計画と設計を行います。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮し た計画及び設計	_	実施する			部実施する 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではガイドラインなどに配慮した計画と設計を行います。
93	景観形成地区指定の協議		実施する			部実施する	協議を行い、規準に基づいた計画としました。
94	景観形成基準の遵守		実施する			部実施する 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守		実施する] 実施しない			部実施する 該当なし	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。
安心安全のまちづくりに貢献します。							
96	歩行者が安全に通行できる空間整備		実施する			部実施する	既開発事業にて歩道整備済みです。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備		実施する	_		部実施する	災害時の防災対策や緊急時に対応できるように、設備機器を導入し安心安全に配慮した適切な整備を行います。
98	防案対策のための安心安全に配慮した整備	_	 実施する 実施しない			部実施する	1階エントランス(風除室)にオートロックを設けセキュリティーゾーンを設定し、安心安全に配慮した計画とします。

工事車両運行経路図

